

# MDAレポート

No.97号

2019年2月19日

## MEC-9号炭素

電磁場の改善・湿害対策・防虫対策 ——

大地の環境条件を改善する・・・炭素埋設

### 炭素埋設とは

炭素埋設とは古来の家相、運勢等の占いの思想を現代科学で解明した画期的技法である。

住宅や工場や作業所の要所に炭素埋設をすることによって、その土地の電位構成を改善、電磁場が修正されるので、敷地は優勢化され、且つそれが持続することである。

### 大地条件の整備

住宅敷地や工場における電磁的かつ安全衛生的環境を構築するために大地に炭素埋設の基本的工事が必要であります。

大地は電磁氣的にゼロ電位の導体としてアースの基準になっていますが、大地表層では電荷に富むところと希薄なところが存在していることや、絶えず変動している不安定なところがあってなにがしかの地電位が存在しています。負電荷に富む陰電位を示す電子を与えやすい大地は植生上有利であり、負電荷が相対的に希薄な大地は植生上不利であるとされています。またこのような地電位が不規則に変動するような大地では極めて劣勢な育成を示すとしています。このような事態を改善し植物の育成を安定に確保するためには負の地電位の大地を作る炭素埋設大地の施設が必要になります。

通常電磁氣的に相対的に大地と大気空間との

間には電位差が生じています。雷の発生時には高電位が生じて電流と磁界が発生します。その発生は不規則であり場所によって一様ではありません。

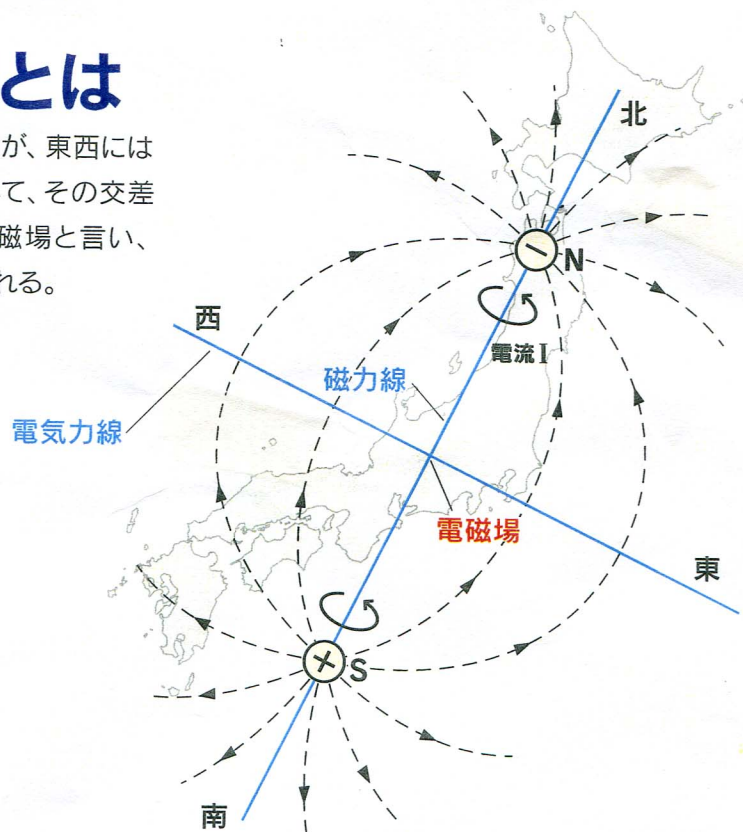
また電氣的機械装置の設置時には大地にアース電極棒を挿入しアースをとり電氣的な接地回路を設けます。接地抵抗ゼロΩが理想ですが現実にはそうは行きませんA種20Ω～70Ω程度以上になっている場合が見られます。接地抵抗が大きいとその電気回路に雷やその他を制御する基本的工事が必須であります。外乱で瞬間生じた高電磁界により高電流が発生しアースを通しての逃げ場を失った一部の電流が配電盤や電気制御装置内に滞留し、装置内の電気回路を破壊する事態に発展します。この様なことが繰り返されると電氣的機械装置の短命化につながります。これを避けるためには大地に炭素埋設することにより、接地抵抗を改善して大地と大気間に生じる電磁界の流れを整流化することが重要であります。前途のような劣勢の事態をさげ、大地を炭素埋設で設備することで上記電磁的整備のみならず衛生的にも環境が改善され安全で健康的な環境が設備されます。また大気環境整備のためのMDA電子シャワー装置などMDA装置の働きを良くするためにも炭素埋設大地や炭素入り土間の整備は必須になります。

### (1) 電磁場とは

地球の南北に磁力線が、東西には電気力線が走っていて、その交差しているところ電磁場と云います。電磁場はプラス⊕とマイナス⊖の電荷で作られていて、この交差している地点の電磁場は大地を人口的な整地や掘削をしたり、地上の人工物（建物、樹木、鉄塔、ビル、電柱等）を設置をすることによって自然の大気と大地の電位差が変化し、電流方向も変わってしまいます。この大地の電位の変化は表面より深さ30cmがまでの深さに影響を与えていると思われます。ですから大地を30cm以上掘削すると損傷電位と云い、その周辺の自然の電位構成を大きく変えてしまい、そのために様々な影響やトラブルが発生するものと思われます。

## 電磁場とは

地球の南北に磁力線が、東西には電気力線が走っていて、その交差しているところを電磁場と云い、⊕と⊖の電荷で作られる。



### (2) 土地には優勢地と劣勢地がある。

優勢地とは —— 植物生育に良い土地、健康地、物質の耐久性を賦与する地帯。  
(電磁場の強い土地) 電氣的に電磁氣力が強い、還元電圧（高電位）地帯を云う。

劣勢地とは —— 植物の生育の悪い土地、不健康地、腐敗破損し易い地帯。  
(電磁場の弱い土地) 電氣的には電磁氣力が弱く、酸化電圧（低電位）地帯、即ち物質から電氣を奪う、氣（ケ）の枯れた土地の意味を云う。昔からケガレと云う意味はケガレチ（氣枯地）から来ている。





住宅の庭先に施工した炭素埋設

### 炭素埋設の意味

地球上の大地表層には、通常、微弱な電位差を示す電区があり、また、一定の電位構成があります。自然の条件を人為的に変えて、建造物を建てたり、大地にいろいろ穴を掘ることによって、損傷電位と云ってその土地に大きな電位差を発生させ、その周辺の自然の電位構成を変えてしまいます。その為には様々な影響やトラブルが発生します。住宅や工場や作業所要所に炭素埋設をすることによって、その土地の電位構成を修正し、且つ電磁場が安定するので敷地は優勢化し且つ、それが持続します。

### 炭素埋設のはたらき

物質は119の元素で構成されていて、生物であれ食品の原料などもこれらの元素で成り立っています。あらゆる物質は、全てが顕微鏡でもみることが出来ない「原子」で出来ています。そしてこの「原子」も⊕陽電子(プラスの電子)をもつ「原子」とその回りを運動する⊖陰電子をもった「電子」から成り立っています。通常、物質は原子核の⊕陽電気と核の回りを運動している⊖陰電気である電子の数とかが等しいため、原子全体(物質)のプラス、マイナスの電気は互いに打ち消しあっています。つまり原子は電氣的に中性なのです。

ところが⊖電子は主に酸素や光、熱、静電気、摩擦熱などによって逃げやすくその数が減ると、⊕陽電気と⊖陰電気の均等が崩れて原子全体(物体)は⊕陽電気をもった陽イオンになってしまいます。これを通常「酸化」したというのです。反対に⊖電子が原子に付与されると原子核内の⊕陽電気と調和しますがこれを「還元」したと云います。ところで分子(いろいろな元素である電子が集まって物質特有の性質をもった状態)に⊖電子が多くなると陰イオン状態となり、動植物や食品の原料、あらゆる物質の「酸化」を防止することになります。

この⊖電子を充満させるために炭素を用いますが、特にMEC-9号炭素にはその周辺から⊖電子を引きつける働きがあるからで、その環境に炭素を利用して⊖電子密度を高めてやると、⊖電子が逃げにくい条件をつくり出すことができるのです。MEC-9号を使用した環境は電磁場も強くなり、電磁場の強い場所は、それだけ⊖電子が逃げにくく、また周辺から⊖電子が集まってきます。MEC-9号炭素の施工場所に⊖電子の不足した動植物や食品の原料を持ち込むと⊖電子が付加され、本来の良さが戻って来ます。このようなところ電磁場の良い土地と云い、人間にやさしい、製品にやさしい環境をかもし出すことができるのです。

## 高電位な環境にします



- 地力が高まり、健康的でトラブルの少ない土地条件になります。
- 植物の生育が良く、花や実が良くつき、作物等の収穫量が増えます。



※MDAレポートは皆様のミニコミです。  
MDAレポートに関するご批判、ご意見  
ご提言、皆様の体験レポート（家庭用、  
工業用）あるいはご質問など何でも結構  
です。書欄にて当社までお寄せください。

〒921-8831

石川県野々市市下林4-499-2

丸子電子株式会社

TEL<076>246-6806

FAX<076>248-0103

MDA特性総合研究所

TEL<076>246-6863